



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1809

2017年

8月5日

JR 30年検証討論集

安全問題 技術継承問題

第一部 記念講演

東京地方本部は、七月八日に田町交通ビルにおいて、「JRの安全・安定輸送を求める国労東京JR30年検証討論集」を開催した。国鉄の分割・民営化から三〇年を経て、今なお続いている安全問題、新たに発生している技術継承の問題、会社間格差の問題などの現状認識を全組合員で一致させ、今後の取り組みを強化していくために開催したもの。

開会にあたり鎌田委員長は「大幅な要員削減とアウトソーシングの拡大の中で、公共サービスの低下と重大事故が相次いで発生するなど、安全・安定輸送の確保は喫緊な課題。JR各社・グループ企業などで働くすべての労働者が、安全で安心して働き続ける労働条件・職場環境を築くために、安全・安定輸送の確立に向けた本格的な安全対策、適正な人員配置や確実な技術継承、人材育成と教育の充実、JR各社間で広がる経営格差や構造的問題など、この三〇年を幅広く検証しよう」などのあいさつをおこなった。



開会あいさつ 鎌田委員長



第一部 海渡弁護士



第二部 高木弁護士

第三部では、第一部第二部の提起を受け、営業・電気・工務・工作・運車(運転・研修)・運車(車掌)の各職能別協議会から、安全問題、要員問題、

誰も疑わない。イギリスでもスウェーデンでも、鉄道インフラの維持は国の責任と言う原則が再確認されている。インフラの整備は国の責任とし、キャリアの採算は、事業者の努力と地方公共団体の支援により図っていくという方向性こそが、鉄道を成り立たせていくために必要」などの報告を行った。

第二部 業務委託問題の検証

第二部では、年々拡大する業務委託に関する問題点を、高木弁護士から報告をいただいた。高木先生は報告の中で「二〇一五年一〇月に保線工事孫請け会社社員の交通事故による死亡事故があった。勤務実態は、多くの社員が日勤と夜勤の両方を週一回の休日以外を出勤している。一ヶ月に五〇回の出勤である。JRから一ヶ月に三回ある。明らかに過労による居眠り運転。二〇一六年六月に常磐線で線路閉鎖がされない状態で作業用トrolleyが載線され電車と衝突した。連日の夜勤で、職場で寝泊まりする方が多い。作業を慎重に行う意識に乏しい。打ち合わせどころではない実態。少しでも早く終わらせて帰りたい意識が強い。」

JRの本体に保線の技術が継承されていないため、JRの若手社員をパートナー会社に出向させて、技術を習得させようとしたが、出向先でも技術力が無く持て余し、結果的にその社員が事故を発生させる事態すらあった。労働者は転職し技術が下請け先に蓄積しない実態が蔓延。今は技術を持ったJR出身の社員が、かろうじて現場を、安全を持たせている。今後どうなるのか」など委託と労働条件の低下、安全問題と技術力低下の問題提起をおこなった。

技術継承問題、委託問題など、それぞれ特に今問題となっている事や取り組みが報告された。

第四部では、

増え続ける、各路線、各会社間での直通運転で発生する問題について、「首都圏交通の課題」として、常磐緩行線(千代田線)小田急線の直通運転を取り上げ、東京地下鉄労組、小田急労組からも参加していただき、情報交換を行い、改善への糸口を探った。

国労からは上野支部・西尾執行委員(松戸車両センター)、東京地下鉄労組からは笠原福利厚生部長、小田急労組からは関庶務財政部長が参加された。

国労からJR常磐緩行線の状況について「朝乱れると、夜まで運用が狂う。列車ダイヤは元に戻っても、車両運用は戻らない。通常は夜、松戸にメトロ車が一本。我孫子に小田急車が一本入る。夜、本来一本しか入らない小田急車が七本来たこともある」

東京地下鉄労組からは「千代田線の前後、



第四部 小田急労組 関さん
東京地下鉄労組 笠原さん
国労上野支部 西尾さん



第三部 各職協のみなさん

北は松戸まで、南は成城学園までダイヤ確認は可能になっている。混乱時に直通を小田急と打ち切った場合は電話でやりとりして、自社の車両の把握をしている。三社の車両を人的に確認。検査にひっかからなければ、行った先で泊めてもらう」小田急労組からは「千代田線霞ヶ関あたりまでのダイヤ把握が可能になっている。小田急の車両にはGPSを付けている。また、入庫した車両の車号を乗務員が報告して行く。運用混乱時は、唐木田などで別の編成を出したり、途中打ち切りで運用を戻している」などの報告がされた。

その後、国労からは小田急への直通がさらに増える事への懸念が、東京地下鉄労組からはホームドアの設置予定と、北綾瀬までの直通運転について報告された。小田急労組からは復々線化の完成で直通列車が大幅に増えるが、遅れも想定されたダイヤが作れば、などの発言がされ、第四部は終了した。

第五部では、JR各社の現状として、JR北海道の状況について国労北海道本部・伊藤副委員長から、続いてJR貨物会社について、東京貨物協議会・長島議長から、JRバス関東の状況について自動車支部・渡書記長から報告がされた。

集会の最後に松川書記長が「JR各社間での大きな格差が報告された。われわれは三〇年前に指摘した。光と影と言われる事もある。JR北海道が影で、JR東日本が光なのか。しかし、それは安全が確保されているのが前提だ。技術継承もままならない。JR東日本は、力ネはあるが技術が無い会社になつていく。今日討論された電車の直通はこれからの重要な課題になる。各職協とともに、これからの、職場から運動を作っていく確認をしたい」などのまとめを行い、四時間に亘る検証集会を終了した。



第五部 国労北海道本部 伊藤副委員長

国労加入歓迎会

大井工場支部

大井工場支部は、七月二〇日に品川区中小企業センターにおいて、六月に国労加入した児玉裕さんの加入歓迎会を開催した。歓迎会には支部やOBの仲間も多く参加し、参加者からは「若い仲間が増え、とても刺激になった。今後の運動をさらに活性化させていきたい」と児玉さんの加入に祝福の声があった。東京地本・中嶋副青年部長からは、歓迎の言葉と共に、国労手帳・国労バッジ・組合員証が手渡された。加入した児玉さんからは「自分の力で職場を良くしていきたい」と決意表明され、全体で今後の組織拡大を誓い、歓迎会は終了した。



児玉さんへ 檄を渡す 中嶋副青年部長

第5回ボウリング大会

一投ごとに上がる歓声

東京地方本部は、七月二一日に王子サンスクエアボウルにおいて、第五回国労東京ボウリング大会を開催した。一時に開会式が行われ、大会が始まった。鎌田委員長、松川書記長の始球式を皮切りに二ゲームを行い、各地区本部・支部や青年部、家族会など計一八チームが競い合った。全体的には、昔のボウリングチームのためか、青年層より年配者のチームのほうが高得点であった。終了後は隣接する交流会場で昼食をとりながら表彰式が行われ、さらに全体で盛り上がった。



始球式の様子

定例組織対策オルグ実施

東京地方本部は、七月一四日に定例の組織対策オルグを行った。今回は新橋支部と池袋地区分会の協力で、池袋地区の駅の組合員の激励を行った。当日は駒込駅に集合し、新大久保、駒込間と、板橋・十条の各駅へ行き組合員と交流を行ってきた。これらの駅も半分は既にJESSへ委託がされていて、出札窓口が廃止された駅も多く、組合員から様々な意見も聞きながらの交流となった。



大塚駅で

個人別成績		チーム別成績	
優勝	滝沢 淳	点数は二ゲーム計	
準優勝	嶋山 幸広	東所沢電車区	四二三
第三位	小暮 尚彦	JESS品川駅	三五六
		新宿駅	三三五
		東所沢電車区 A	九八八
		新宿駅	八七九
		JESS品川駅	八五二



優勝 東所沢電車区 Aチーム



第三位 JESS品川駅チーム



準優勝 新宿駅チーム

国労東京法律相談

毎月第二水曜日
(除く8月)
14時～16時(1回30分)

★初回無料・できるだけ予約を★

「がん」の保障 <<新生きるためのがん保険Days>>

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～満85歳

Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円
	上皮内新生物の場合	一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき	治療を受けた月ごと	10万円 (給付倍率2倍) (更新後の保険期間を含め通算600万円まで)
(上皮内新生物は対象外) 抗がん剤治療給付金※	乳がん・前立腺がんのホルモン療法の際に治療を受けた月ごと	5万円 (給付倍率1倍) (万円まで)

※Aプランの場合、抗がん剤治療給付金をご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス プレミアサポート

訪問面談サービスと専門医紹介 ベストドクターズ®サービス(プレミアムタイプ) (このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです) Best Doctors®およびベストドクターズは、Best Doctors, Inc.の商標です。

◎詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

「生きる」を創る。Afiac

◆月払保険料(集団取扱) (2016年12月14日現在)

新生きるためのがん保険Days Aプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ
保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822

<引受保険会社>
アフラック 東京第二法人営業部
〒163-0456
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95